

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	瀬戸川(石脇川工区)流域・今ノ浦川流域・巴川流域・安間川流域・境川流域における市街地浸水を解消するための安全・安心な地域づくりの推進		
計画の期間	平成22年度～平成24年度(3年間)	交付対象	静岡県
計画の目標			

集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、都市下水整備等と一体になって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。

計画の成果目標(定量的指標)

- ① 毎年の風水害による死者数を0人。
- ② 平成16年に発生した豪雨による床上浸水の被害戸数から被災時と同程度の出水に対して、河川整備により床上浸水被害が解消された戸数を、0戸(H21)から107戸(H24)に増加。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21)	中間目標値	最終目標値 (H24末)	
① 毎年の風水害による死者数。	0人	-	0人	
② 平成16年に発生した豪雨による床上浸水を受けた家屋(107戸)のうち、被災時と同程度の出水に対して、河川整備により床上浸水被害が解消された家屋数。	0戸	-	107戸	

拠点施設・重点地区

石脇川・・都市下水路(浜当目雨水幹線)(石脇川左岸第2排水区)-焼津市 今ノ浦川・・沼原川雨水幹線下水道防災事業-磐田市 巴川・・大谷川右岸排水区-静岡市  
安間川・・都市下水路(安間川左岸1.4・1.5号雨水幹線)(安間川左岸第二排水区)-浜松市 境川・・北中郷雨水1号幹線(境川第二排水区)-三島市

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,605.0百万円	A	1,597.0百万円	B	0.0百万円	C	8.0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.5%
-------	---------------	------------	---	------------	---	--------	---	--------	-------------------------	------

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ

第2期(H20~H24)				第3期(H25~H29)			
分野名	安全・安心			分野名	安全・安心		
目標名	風水害対策の推進			目標名	風水害に強い基盤整備		
指標名	風水害による死者数	目標値(H24)	0人	指標名	一定規模の降雨による洪水に対する安全性が確保された河川の整備率	目標値(H29)	53.8%

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業

A1 基幹事業 ※下水道関連特定治水施設整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H22	H23	H24					
1-A1-1	河川	一般	静岡県	直接	-	広域河川2	改修	瀬戸川(石脇川工区)下水道関連特定治水施設整備事業	護岸工(L=785m)、橋梁工	焼津市					130.0	△	H28
1-A1-2	河川	一般	静岡県	直接	-	広域河川2	改修	今ノ浦川下水道関連特定治水施設整備事業	築堤、掘削(L=1750m)	磐田市					191.0	○	
1-A1-3	河川	都市	静岡県	直接	-	総合治水	改修	巴川下水道関連特定治水施設整備事業	遊水地築造(A=1.6ha)	静岡市					876.0	△	H40
1-A1-4	河川	都市	静岡県	直接	-	総合治水	改修	巴川(大谷川放水路)下水道関連特定治水施設整備事業	護床工(L=800m)	静岡市					400.0	△	H40
小計(広域連携事業)																	
合計											1,597.0						

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H22	H23	H24				
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H22	H23	H24				
1-C-1	活動支援	一般	静岡県	直接		活動支援	排水ポンプ整備	排水ポンプ、発動発電機の購入	焼津市、磐田市					8.0	-	市事業で対応
合計											8.0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C-1	基幹事業(A1-1~2)のハード対策と共に、緊急的に設置が可能な排水ポンプの整備により、早期に河川の流下能力不足に起因して発生する浸水被害の軽減を図る。														

その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者		要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26				
河川	一般	静岡県	直接	-	広域河川2	改修	瀬戸川(石脇川工区)下水道関連特定治水施設整備事業	護岸工(L=785m)、橋梁工	焼津市						50.0	△	H28
河川	都市	静岡県	直接	-	流域治水1	改修	安間川下水道関連特定治水施設整備事業	遊水地築造(A=6.6ha)	浜松市						550.0	△	H36
河川	一般	静岡県	直接	-	総流防1	改修	境川下水道関連特定治水施設整備事業	護岸工(L=120m)	三島市、清水町						297.4	△	H37
				A'		897.4百万円	B'		0.0百万円	C'		0.0百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))		0.3%		

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業  
 【H24】GのNo.75~77 【H23】GのNo.113~114  
 (別添「事業実施計画」参照)

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

**定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況**

- 河川整備を推進してきた成果として、風水害による死者は出ていない。
- 床上浸水被害の解消戸数が目標値に到達してはいないものの、河川整備のみにより解消される戸数(58戸)については解消されている。なお、残りの戸数(49戸)を受け持つ排水機場の整備については、事業主体となる磐田市と調整を図り、早期完成を促していく。

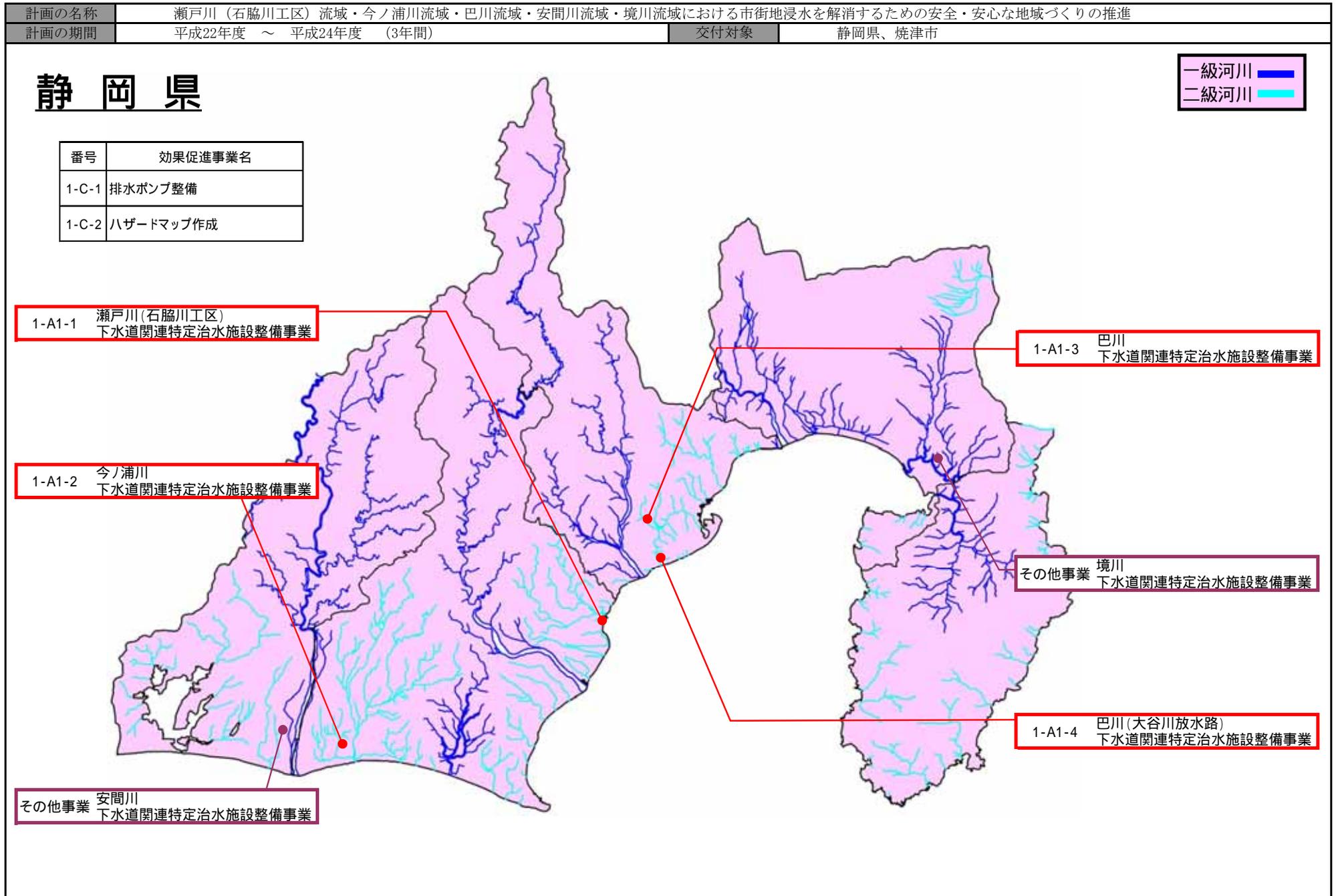
定量的指標の達成状況	指標①(毎年 の風水害による 死者数)	最終目標値	0 人	目標値と実績 値に差が出た 要因	
		最終実績値	0 人 (100%)		
指標②(平成16年 に発生した豪雨による 床上浸水を受けた家屋 (107戸)のうち、被災 時と同程度の出水に対 して、河川整備により 床上浸水被害が解消さ れた家屋数。)	最終目標値	107 戸	目標値と実績 値に差が出た 要因	○ 今ノ浦川流域においては、河道改修のみならず排水機場の整備が必要とされ、残り49戸は排水機場の整備で解消する。これを受け持つ磐田市が、平成27年度に排水機場の整備を完了する計画としているため。	
	最終実績値	58 戸 (54%)			
指標③( )	最終目標値		目標値と実績 値に差が出た 要因		
	最終実績値				

**定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況  
(必要に応じて記述)**

## 3. 特記事項(今後の方針等)

引き続き、交付金による各種事業の進捗を図り、市街地浸水を解消するための安全・安心な地域づくりを推進するものとする。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

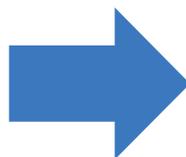
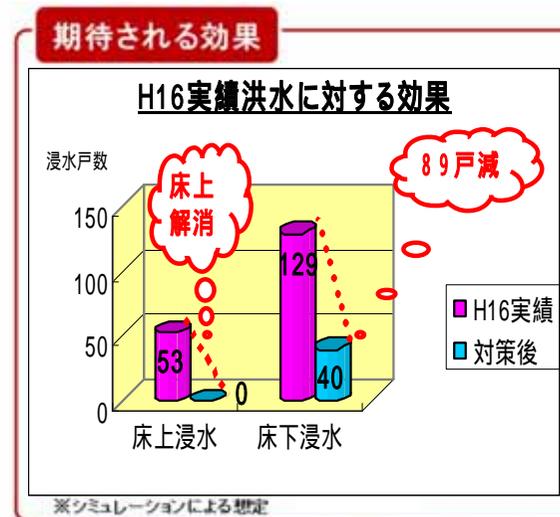
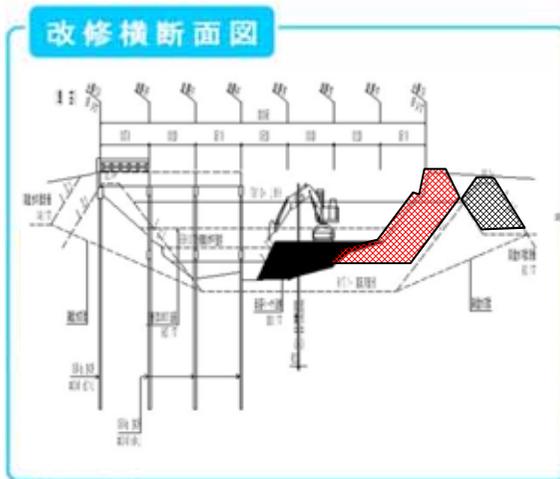


# 事業効果の発現状況

## 下水道関連特定治水施設整備事業

集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、都市下水整備等と一体になって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活を確保することができた。

【事例】 二級河川 今ノ浦川



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部